

星山えほんの森保育園の想い

大人の先回りの言葉がけ・手出しを控える
自分で出来る保育室を工夫
子どもを信じて待つ

子ども

自ら考え、自らあそび、
自らたべる子

どの年齢の子も「自ら」
が叶う環境

決めつけない
否定しない

どの子も育つと信じて
待ってくれる大人

仲間とつながれる子

仲間と話す・考える・やってみる
その時間を大切にする大人

地球の命を感じる子

食物に向き合い
命を育てる大人

心も体も外へ向かって
解放できる子

自由に屋内外を行き来できる環境

自ら外に向かう大人の姿
十分な食事と睡眠で
健康な心とからだ

暮らしを子どもと一緒に作って
いくことが保育である

どの部屋も行き来自由！大人が率
先して本気であそぶ！

家庭との協力で生活リズムを整える
室と量で豊かな食事

自分の想いを相手に
伝えられる子

子どもの話を
よく聞いてくれる大人
子どもをありのままに
受け入れてくれる大人

どんなときも子どもの
声・言葉に耳を傾ける
目を合わせることを大切にする

子どもの「いや」を
認める

想像力豊かな子

良い文化と本物に
触れる時間

好きなことに夢中に
なれる子

一歩先のことに
挑戦できる環境

年齢に合わせたえほんの充実
わらべうたを楽しむ

保護者

共に子育てを見守り
支えられる仲間

子どものありのままの姿を
共有し認め合う時間をもつ

いつでも話せて
帰ってこられる場所

いつでも開かれた
園であること

学び合える仲間

子どもの育ちに
大切なことを学び合う
機会を継続的にもつ

保護者の声に耳を傾け
寄り添い合うこと

保護者に声をかけ、毎日の様子・
変化にも気づいていけるように心
を配る
よく話を聞く

時に母であり父であり
時に一人の人として認められる場所

お互いにひとりの人として
対等であること

先生と保護者ではなく1人の人として
名前と呼び合うようにする

お便りでの啓蒙、クラス懇談会の催
保護者と勉強会を出来るようになりたい

連絡帳に加えて日々の送迎時の
コミュニケーションを大切に。
子どもの素顔なところをたくさん
伝える